

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	エフビー介護サービス株式会社	代表者	代表取締役 柳澤美穂	法人・事業所の特徴	1.【個別ケア】ひとりひとりが歩んでこられた人生への理解と共感に基づき、自立支援を基盤としたケアを行います。 2.【認知症ケア】認知症の正しい理解に基づき、ひとりの「人」としての尊厳を大切にして、安心して過ごせる居場所と関りを提供します。 3.【看取りケア】穏やかな日々の暮らしの場で安らかな旅立ちが迎えられるように、さまざまな職種のスタッフが協力して、利用者様とご家族様に寄り添い支えます。 4.【地域ケア】住み慣れた地域で安心して最期まで生活が送れるように、各組織や地域住民の方々との連携を図り支えます。
事業所名	あったかほーむ桜花	管理者	上野 結子		

出席者 (構成)	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	人	2人	人	1人	1人	人	2人	人	7人

項 目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	*自己評価を全員に配付して改善計画の取り組みを行う。 また、改善計画内容を定期的に会議の中で読み上げ意思統一を図り、途中経過についても確認して意見を出してもらう。	自己評価は全員に配付し改善計画の取り組みを行うことができたが、途中経過の評価は、会議参加者が少なく意思統一が図れたか不安が残った。	*事業所のスタッフ全員で話し合い、改善をしていく態勢が伝わります。 *現状や課題をスタッフで共有できていると感じます。 *日常生活の支援の改善計画が具体的で実施しやすい内容になっていると思います。	*改善計画対し全職員で取り組み、定期的に会議の中で改善計画内容を確認し意思統一を図る
B. 事業所のしつらえ・環境	*玄関や事業所内の飾り付けで落ち着いた居心地の良い空間作りを行う。 また、日中は門や玄関に鍵をかけず、ご家族や地域の方が入りやすい環境を整える。	*季節ごとの飾り付に気を配り、視覚で季節を感じていたく工夫ができた。	*ご利用者様たちの作品が飾られている。 *いつも明るくきれいな室内だと思います。 *静かな環境だと思う。 *引き続き、過ごしやすい環境を提供していただければと感じます。	*引き続き玄関や施設内に季節を感じる飾り付けを行い、穏やかで居心地の良い環境づくりを行う。また、日中は門や玄関に鍵はかけず、ご家族様や地域の方々が入りやすい雰囲気づくりに努める。
C. 事業所と地域のかかわり	*地域の行事・イベント情報の収集をし参加する。また、回覧板の継続・事業所行事を計画し地域の方々との交流を深め、地域の方々のお困りごと等にも相談に応じる。	*感染症が季節関係なく流行し、地域の方々との交流の場が、秋祭りや獅子舞いと限られるものとなってしまった。 *地区内には、地区の回覧板に事業所新聞を折込み、インスタグラ	*お出かけも楽しんでいると思う。地域のイベントなどにも参加させていただき、ありがたいです。 *公民館の行事に参加されている方がいて地域に顔つなぎができ	*感染症の流行傾向をみながら、地域のイベントへの参加及び地域の方々にご参加いただける事業所行事を計画し交流を深める

		ムでも情報発信を行った。	ていると思います。（民生委員さんとの連携） *今後も参加と交流を深めていただければと思います。	*回覧板の継続と地域の方々にお困りごとが生じた場合には、随時ご相談に応じる。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	*地域行事に参加が難しいご利用者様も、事業所内での季節の行事やイベントを企画し、楽しんでいただける機会を設ける。また、重度の介護が必要な方も安心してご参加いただけるよう内容や環境に配慮する。さらに、地域包括支援センターや民生委員の皆様と連携を図り、地域で不安を抱えておられる方々との関わりを大切にしながら、支援の充実に努める。	*管理者が変わり不慣れなために行事やイベントへの参加の機会が少なかった。季節に関係なく感染症が流行り地域に出向くことができなかった。 *地域包括支援センターや民生委員さんと情報共有に努めることができた。	*今後も必要に応じた関係機関との連携を進めていただければと思います。	*感染症の状況をみながら、重介護度のご利用者様も安心してイベントや行事にご参加いただけるよう、地域包括支援センターや民生委員さんと連携し、ご利用者様が住み慣れた地域から切り離されないよう支援に努める。
E. 運営推進会議を活かした取組み	*事業所での活動状況報告及び、地域のご不安をお持ちの方々の事例検討や様々な話題についても話し合いを行う。いただいたご意見を今後の運営に活かし、改善計画と共に地域一体での取り組みを行う。また、スタッフにも交替で運営推進会議に参加できるよう勤務の調整を行う。	*今年度は、管理者の交代で主に管理者中心の参加となってしまった。来年度は、スタッフにも交替で参加してもらい地域の方々からの声・現場から地域の方々へと情報の交換を行えるよう勤務の調整を行う。	*今後も事業所やケースでの課題提起をお願いします。 *実際に現場で働いているスタッフの方からご意見が聞けてよかったです。	*事業所での活動状況の報告や地域のご不安をお持ちの方々の事例検討等を行い、地域に根付いた開かれた事業所運営に反映させる。また、スタッフも交替で会議に参加できるよう調整を行う。
F. 事業所の防災・災害対策	*年2回の消防・災害訓練（通報・避難・消火・緊急連絡網での連絡及び非常食備蓄状況の確認・自家発電機の操作説明）を実施する。うち1回は、消防署員の方に来所いただく。また、地域消防団・運営推進委員にも声掛けし参加を促す。 *業務継続計画（BCP）を定期的に更新する。	*5月・11月に災害訓練及び消防訓練を実施し、自家発電機の操作方法についても説明・稼働を行った。 *市の消防署員の方にご参加いただき指導を受けることができたが、地域の消防団・推進委員・事業所近隣への参加要請はしなかった。	*訓練をしっかりと実施されていると思います。 *昨年、北大井地区区長会主催で合同防災訓練を東小学校で行った。区長会では、毎年開催できればと考えている。機会があれば可能な限り出席してみては？	*引き続き、年2回災害訓練（噴火・風水害・地震等を想定）、非常食備蓄状況の確認・自家発電機の操作方法及び消防訓練を実施する。うち1回は、消防署員の方に来所いただき指導を受ける。 業務継続計画（BCP）を定期的に更新する。